

# 妙勝寺の大クスノキと墓

(兵庫県淡路市釜口)

淡路島のお墓を守る巨樹は、  
受験生のパワースポット

岩崎哲也理事

淡路景観園芸学校

兵庫県立大学大学院

准教授



まるで樹木葬



墓石とともに、大阪湾を望む

日本はじまりの地といわれる淡路島は、太古の昔から人間活動による開発の歴史が長く、巨樹が育つ大自然が少ないと言われていました。それでも社寺などごく一部の場所で、その姿を見ることが出来ます。

神戸市舞子から明石海峡大橋を車で渡り、二つ目の東浦I.C.を降り国道28号を海沿いに南下すると、本土から約35分、妙勝寺の大クスノキがあります。

淡路島の東海岸は温暖で、東浦I.C.から大クスノキまでの海岸沿いには、住宅地や商店、学校、漁港などが並び、それらが途切れて海と山と農地が広がったこの付近が淡路市釜口といわれる地域です。下の写真に小さく写る白い観音像は、老朽化でもうすぐ取り壊される高さ約100mの世界平和大観音像。この地域のランドマークでした。国道から丘陵を約3分上ったところにあるこの寺には、淡路島最古といわれ



100m観音像と大阪湾 遠く金剛葛城山系を望む



楠木正成に見立て、足利尊氏が一刀を入れたという



樹幹下から眺める大阪湾



表土は砂質 掃き清められている

## 妙勝寺の大クスノキ

樹高 26m  
幹周り 7.6m  
根周り 11.6m  
枝張り 30m  
樹齢 約600年  
海抜 約100m

所在地…兵庫県淡路市釜口1163  
アクセス…神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから国道28号を南下。車で約20分



左端の小高い墓標群は、戦地で亡くなった若い御霊の墓

在感に頼っている印象があります。

墓地では、掃き清められた地に整然と墓石が並び、その多くを大クスノキの枝が覆っています。その枝からはずれた小高い場所には、ひと際立派な、先の戦争で失われた若き霊を弔う墓標群が立ち並び、これらすべてが皆、大阪湾を見下ろしています。

こうして圧倒的なパワースポットでありながら、大クスノキには衰退の兆しが見え、枯死する心配があります。枯れた枝が多く、全体的な葉量の低下、

梢端の元気の無さ、全身にみられるクスベニヒラタカスミカメの被害など、墓地ならではの、地方ならではの緑の管理の難しさが潜在するパワースポットでもあるようです。近年、この温暖な地域には宅地や観光農園、カフェなども増えつつあるのですが、淡路市には公園や庭木などといった人が近づきやすい環境資源が絶対的に少ないため、市民が緑に触れる機会が少なく、生活の豊かさとしての緑を見つめなおす時期に来ているようです。

パワースポットの  
原稿募集中!!